

公務員の労働基本権の回復へ

自治労連も加入する全労連公務員会は、公務員の労働基本権の回復をめざし、ILO（国際労働機関、本部はスイスのジュネーブ）へ5月16日から23日にかけて代表団を派遣します。

大阪での公務員の労働基本権制約の実態を明らかに

大阪自治労連からは枚方市職労副委員長の三宅武志さんを派遣します。枚方市職労は、維新の会に所属する市長が不当にも組合事務所の退去を通告したことに對して、労働委員会と裁判に訴えて全面勝利しました。三宅さんは大阪における公務員の労働基本権制約の実態を明らかにし、ILOから日本政府

枚方市職労・三宅武志副委員長をILO(国際労働機関)に代表派遣



大阪の自治体労働組合を代表してILOに派遣される枚方市職労の三宅武志副委員長

に對して、公務員の労働基本権を回復する勧告を行うよう要請します。

公共サービスの民間委託や再直営化についても交流

代表団は、西欧で水道など公共サービスの民間委託や再直営化について調査研究しているシンクタンク・トランスナショナル研究所とも交流します。

大阪自治労連は三宅さんを代表団として派遣するにあたり、組合員のみなさんにカンパを呼びかけています。



枚方市長による不当労働行為とたたかう裁判で全面勝利し、「勝利判決」の幕を手にする三宅副委員長（大阪高裁前で 2023年6月16日）

ILO（国際労働機関）とは

国際的な労働基準の制定を通して世界の労働者の労働条件の改善をめざす国際連合の専門機関。1919年に創設され、加盟国は187か国。1日8時間労働、母性保護、労働基本権の保障など国際基準を制定し、各国で実施されてきました。日本の公務員はストライキ権など労働基本権や政治活動が制約され、消防職員は団結権すら認められず、ILOが示す国際基準に違反する異常な状態が続いています。

「あしたの少女」が「えい」が

「あしたの少女」

ある高校生の死をめぐる

衝撃的な実話を映画化



2017年に韓国で起きた実話をもとにした作品。公開は昨年8月です。ダンスが好きな明るい女子高校生ソヒは、職業高校の担任の紹介で大手通信会社のコールセンターに現場実習生として働き始めます。仕事は客の解約を阻止することで、厳しいノルマを課して従業員同士を競争させ、実習生を低賃金で消耗品のようにこき使う過酷な職場の実態がリアルに描かれます。そんな仕事から次第に神経を擦り減らしていったソヒは、指導役の男性上司の自殺で更に追い詰められます。「仕事を辞めたい」というソヒの必死の訴え

も、彼女の稼ぎを当てにする両親、学校の体面を気にするだけの担任教師には届かず、絶望したソヒは真冬の貯水池に身を投げました。後半は監督の創作です。ソヒの遺体が発見され、捜査を担当することになったのは、ユジン刑事。彼女は、両親や友人たちに会い、コールセンターと高校にも出向いて調査するうちに、会社の働かせ方に違法性を感じとり…。

就職率や補助金を重視し、実習先の労働環境は見ようとしない学校と教育庁、韓国の高校生の職業実習制度の実態を暴いた本作品が公開されるや、世論が高まり制度が改革されました。ユジン刑事に扮したのは、是枝監督の「ベイビー・ブローカー」で警官を演じたベ・ドゥナ。ソヒの声を聴き取り、その代弁者となって大人たちの責任を追及する重要な役どころです。英題「Next Sohee（次のソヒ）」には、次の犠牲者は出さないという決意が込められています。

Culture Navi かるちジャーナル

作りませんか



ふきと豚肉のきんぴら

貝塚市職労 瀬戸 真一さん

協力：現業評議会・給食部会



材料（1人分）

■ふき水煮25g、豚肉（コマ切れ）15g、にんじん10.3g、サラダ油0.5g、みりん1g、酒1g、濃口醤油2g、砂糖2g、ごま油0.3g

作り方

- ①ふき水煮は4cmの長さに切る、にんじんは4cmの千切りにする。
- ②調味料をあわせておく。
- ③油を熱し、豚肉・人参・ふきの順に加えていためる。
- ④全体に油が回ったら、あわせておいた調味料を加えて、煮汁がなくなるまで炒り煮し、ごま油を加えて、仕上げる。

心に響くひとこと

何になるかより
何をやるのかの方が大事

宮島 未奈
（作家 1983年～）

高校生のなりたい職業ランキングで第1位が地方公務員だといいます。そんな「なりたい職業」に就いたあなたは、想像していたのとは異なる現場に驚いたことでしょうか。そこで贈りたいのが「何になるかより、何をやるのかの方が大事」という言葉。公務員になったことに満足するのではなく、「住民の役に立ちたい」「喜ばれる仕事かしたい」という初心を大切に、動き続けてほしいと願います。さらに「誰とやるのか」も大事です。ぜひ労働組合に加入して、仲間といっしょに「喜ばれる仕事」を。

今月の
記念日
4月4日
日本女性医師デー

日本で初めて女性として医師国家試験に合格した荻野吟子が生まれた1851年4月4日に由来します。医療界における男女平等を推進させていくきっかけとする目的で、2024年に記念日として認定・登録されました。荻野吟子は女性医師という前例がなかったことで、いじめにあうなど苦しい学生生活を送りながらも、優秀な成績で卒業しました。女性が学問をするだけでも大変だった時代、ましてや女性が医学を学ぶことに先例もなく幾多の困難を極めました。女性医師に理解を得なかったのは、医師全員が男性だったことも大きな原因なのでしょう。荻野さんの「こんな目にあうのは自分一人でたくさんだ」との踏んばりが女性の活躍につながっています。